

# セラミックコンデンサ事業について

2009年10月29日

TDK株式会社

取締役 常務執行役員

荒谷 真一

# 将来に関する記述についての注意事項

この資料には、当社または当社グループ(以下、TDKグループといいます。)に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

## 当期上期の実績

---

### ◆国内生産拠点の整流化完了（1Q）

➤拠点集約（7⇒4）

### ◆生産アウトプット増（2Q）

➤QoQ 計画以上の増収達成（1Q⇒2Q）

### 整流化の効果

◆拠点集約による固定費圧縮

◆生産リードタイムの短縮

◆生産性指標の大幅改善

➤一人当たり生産、売上指標の改善

◆当期下期の見方

➤ 上期⇒下期

需要増、売上増は期待できないと想定

◆下期の施策

➤集約後の生産体制を元に体質改善追及

➤より一層の生産性改善、コスト改善を進める

### ◆前提条件

- 競争条件の変化は所与の条件
- 当下期中に効率重視の生産体制構築完了

### ◆来期(2011年3月期)施策

- 市場変化に迅速、柔軟に対応する体制構築
- 市場・用途に適した製品の開発、拡充



## プレゼンテーション資料に関する注記

本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信付属資料を参照していただきますようお願いいたします。